



PDF



4. ベニイトトンボ *Ceriagrion nipponicum*



写真2-5. ベニイトトンボ. 垂水区美山台. 1991.6.12. オスの静止.

分布：本種は兵庫県下では神戸とその近辺にしか生息していません。神戸では須磨区，垂水区，西区，そして1例だけ北川弘美氏が北区でみつめています。記録は，北区山田町，西区櫛谷町，伊川谷町，垂水区名谷町，美山台，塩屋台，須磨区多井畑などです。神戸周辺では明石公園でもみつかっています。

これらの記録地は，平地，または丘陵地の，水生植物の茂った，どちらかといえば古いため池です。これらの中には，垂水区にある池のように，住宅街の中に取り残されているような池が多くふくまれています。このような池はいずれはなくなっていくでしょうから，本種の生息地は今後数が少なくなっていくことが予想されます。現に，本四道路の前田（名谷）ジャンクション建設で，名谷町東名の池はなくなりました。兵庫県の中ではほとんど神戸だけというトンボですから，なんとか生き残ってほしいものです。



写真 2-6. 垂水区の池.

生態：6月中旬ころ羽化し，10月までみられます。[連結植物組織内産卵](#)をします。

形態：腹長27～33mm。独特の色彩から，みまちがうことはありません。羽化直後のメスは[キイトトンボ](#)と色がにていることがあります。

